

原料費調整制度に基づく2025年12月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	169.09	154.24	152.04	148.74	139.94	132.24
(参考) 11月 調整単位料金	169.99	155.14	152.94	149.64	140.84	133.14

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2025年 11月	2025年 12月	増減
適用料金(円/月)	5,710	5,683	▲ 27

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2025年6月～2025年8月 の平均 (11月 検針分)	2025年7月～2025年9月 の平均 (12月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格 (a)	84,980	84,000	▲ 980
LNG	85,020	84,050	▲ 970
LPG	80,400	79,370	▲ 1,030
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	27,700	26,700	▲ 1,000

- LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

79,370	× 0.0546
--------	----------

84,000	円/t
--------	-----

26,700	円/t
--------	-----

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

・本体料金は小数点以下切捨て

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。